

**手** 方城中・弁城小のPTA新聞がコンクールで高評価  
を抜かない細やかな取材が実を結ぶ

PTA新聞の「こもれび(方城中)」と「せせらぎ(弁城小)」が6月2日、県の広報紙コンクールで表彰されました。「こもれび」は最高賞となる「福岡県教育委員会賞」、「せせらぎ」は3位となる「福岡県PTA連合会会長賞」を受賞。PTAにしか書けない記事を心掛け、学校を支える地域や保護者の活動など、学校との距離を縮める内容が高評価につながりました。



↑方城中18人(先生5人)、弁城小9人の広報委員で取材や編集を行っています。

↓激しい競り合いに会場中の視線が注がれた、赤池中3年生の「棒倒し・棒引き」。



**雨** 町内3中学校で体育会  
でも笑顔と歓声はじけた体育会

町内3中学校(赤池中246人、金田中252人、方城中227人)の体育会が5月22日に開催されました。この日はあいにくの雨でプログラムを変更しながらの進行となりましたが、練習の成果を発揮し、中学校生活の最高の思い出として、生徒や教師、保護者の心に深く刻まれたようでした。午後に予定していた競技は、各校とも5月25日に延期され、無事挙行されました。

↓田川地区では、圧倒的な強さで負け知らずの方城中バスケットボール部員たち。



**田** 方城中バスケットボール部がアベック優勝  
川No.1に輝いた方城中バスケ部

「春季バスケットボール大会」が5月28日から29日に行われ、方城中バスケットボール部が男女ともに圧勝で優勝に輝きました。決勝まで順当に勝ち上がった両チームは、男子が70点差、女子も30点差をつけて快勝。相手に攻め入るすきを見せない試合展開でしたが、7月の夏季大会に向け、両チームはさらに練習を積み、その強さに磨きをかけています。

↓泥だらけになってもへっちゃら!「大きくなーれ」と声を掛けながら、今から収穫を待ち望んでいました。



**一** 赤池の4保育所が合同田植え実習  
束の苗に愛情を込めて

上野の田んぼで赤池保育所16人、上野保育所25人、市場保育所6人、中尾保育所23人の年長園児が、5月17日に合同で田植え実習を行いました。これは園児たちが「食べ物」に対する感謝の気持ちを込めて体験する毎年恒例の行事です。園児たちは一列に並び、両端から張ったヒモについているポイントに沿って、一束の苗を丁寧に植えていきます。ぬかるみに足を取られ、泥だらけになりましたが、約800㎡の田んぼに1時間ほどで植えられたもち米は、整然とそろい、さわやかな風に揺られていました。

**最** 吉松篤矢選手がプロのキックボクサーに  
強に近づくため東京で武者修行

弱冠15歳ながら、プロキックボクサーとして町を巣立つ選手がいます。赤池中をこの春卒業した吉松篤矢選手。キックボクシング歴わずか3年の吉松選手ですが、天性の格闘技センスで、アマチュア戦7勝4敗2分の戦歴を誇ります。父の拳志さんは「まだ早いかと思いましたが、本人の意思もあり挑戦させました」と息子の夢を後押し。5月15日のプロデビュー戦では見事勝利を収め、幸先の良い好スタートを切りました。



←5月15日に行われた、記念すべきプロデビュー戦の写真。(写真:武土道ボクシング提供)

**九** 福島尚くんが高校野球で九州大会出場  
九州大会出場へと導いた先制ホームラン

金田ジュニアクラブ出身の福島尚くん(神崎)が、自由ヶ丘高校野球部の3年生として大活躍しています。4月4日に「九州地区高等学校野球大会」への最後の切符をつかむ3位決定戦が行われ、5番一塁手で出場した福島尚くんが、2回に見事先制ホームラン。チームは先制点で勢いづき、見事九州大会出場を決めました。4月24日に行われた九州大会は残念ながら1回戦敗退となりましたが、今後の活躍に目が離せません。



←自信があるのは「打撃」と話す福島くん。夏の大会でさらに活躍することを誓いました。

↓目標を持って努力したことが実を結び、優勝を喜ぶ赤池中バド部男子(2・3年)。



**経** 赤池中バドミントン部男子が春季大会で好成績  
経験不足を向上心で補い3冠達成

バドミントンを始めたのは、全員中学生からという赤池中のバドミントン部男子。地域の指導者の協力や生徒の熱意と努力で、目を見張る実力をつけています。5月28日に行われた「田川地区春季大会」では団体戦優勝。個人戦とダブルスも制し、3冠を達成しました。今後の目標は、7月に始まる夏季大会で筑豊大会を勝ち抜き、「県大会」に出場することです。